

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

ウズベキスタンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2026年5月13日【危険レベル継続】（内容の更新）

アフガニスタンとの国境付近で立ち入りが制限されている地域	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」《継続》
ナマンガン州、アンディジャン州及びフェルガナ州のタジキスタン及びキルギスとの国境沿い山岳地帯（キルギス領に囲まれた飛び地ソフ及びシャヒーマルダンを含む）	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」《継続》
上記を除く地域（首都タシケント市を含む）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」《継続》

【ポイント】

- ウズベキスタン国内の治安は平穏で安定していますが、基本的な安全対策を講じ、十分に注意するようにしてください。
- アフガニスタンとの国境沿いの地域は、治安機関により厳格に管理されていますが、不測の事態が発生する可能性もありますので、不要不急の渡航は止めてください。
- タジキスタン及びキルギスとの国境沿いの山岳地帯では、不測の事態が発生する可能性も排除できませんので、不要不急の渡航はやめてください。

【概況】

- (1) ウズベキスタンの国内治安は平穏を保っています。ウズベキスタン政府がテロと認定した事案は2005年以降発生しておらず、テロ事件による日本人被害も発生していません。
一般犯罪について、殺人等の重大犯罪の発生は少ないものの、経済的困窮に起因するとみられる犯罪や粗暴犯による傷害事件が発生しています。
- (2) アフガニスタンとの国境沿いは、当地治安機関による厳重な警備体制が敷かれ、治安情勢は平穏を保っていますがアフガニスタン情勢の変化に伴い、不測の事態が発生する可能性があります。
- (3) タジキスタン及びキルギスとの国境沿いの山岳地帯の治安は平穏を保っています。しかし、同地帯は、麻薬密輸ルートやイスラム過激派の潜伏先として利用されている可能性が排除できません。国境周辺は国境警備隊により厳格に管理されていますが、国内情勢や隣国情勢の変化に伴い不測の事態が発生する可能性があります。

これまでにウズベキスタンにおいてテロ・誘拐による日本人の被害は確認されていません。他方、テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアを始めとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。

近年は、世界的傾向として、軍基地や政府関連施設だけでなく、警備や監視が手薄で不特定多数が集まる場所を標的としたテロが頻発しています。特に、観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等は、テロの標的となりやすく、常に注意が必要です。

また、外国人を標的とした誘拐のリスクも排除されず、注意が必要です。

テロ・誘拐はどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。ウズベキスタンのテロや誘拐に関する情報については、テロ・誘拐情勢 (https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_183.html) も御参照ください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。